

愛の窓

題字 宮下正弘

ご自由に
お持ちください

No.15
2014.5



午後3時30分。
週に一度のカンファレンスの後、病棟回診を行う栄養サポートチーム。
患者さんの声を聞き、適切な栄養療法を考えていく。

TOPICS

- 一人ひとりの栄養状態から治療を見直す
栄養サポートチーム



秋田赤十字病院は平成26年7月1日で創立100周年を迎えます

CONTENTS

- シリーズ漢方薬② ～知っておきたい薬の知識～
- 癒しの一口「あっさり食」～簡単おススメレシピ(病院食編)～
- ストレスドック ～お知らせ～

一人ひとりの栄養状態から治療を見直す

栄養サポートチーム —Nutrition Support Team—

医師が中心だった医療が変わりつつあります。近年、複数の医療専門職が連携し合って治療やケアを行う「チーム医療」が推奨されており、当院でも様々なチームが構成されています。今回はそのひとつである「栄養サポートチーム Nutrition Support Team (NST)」をご紹介します。

▶ 治療の基本となる栄養療法

「低栄養で長期間入院している患者さんに早く元気になって退院してほしい」当院のNSTの始まりはそんな想いから始まりました。チームが始動したのは平成17年。週に1回のカンファレンスと回診を中心に日々の活動を行っています。この活動の中で支援の対象となる患者さんの栄養状態を評価し、「栄養はどのくらい必要か」「必要な栄養は摂れているか」「栄養はどこから摂るのがよいか」「今食べている食事や今行っている点滴の内容は適切か」など、メンバーがそれぞれの専門的な立場から意見を出し合い、患者さん一人一人に最適な栄養療法を主治医に提言しています。

栄養療法は治療の基本です。適切な栄養療法によって合併症を防ぎ、傷の回復を早め、

病気の重症化を抑制することにもつながるとされています。当院のNSTは、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士をはじめ、理学療法士・言語聴覚士・臨床検査技師・事務職員など、計23名の様々な職種からなるメンバーによって構成されています。中でも日本静脈経腸栄養学会認定医と日本静脈経腸栄養学会栄養サポートチーム専門療法士がそれぞれ1名おり、その専門性を発揮しています。

▶ 患者さんとの信頼関係が第一

回診以外でも時間を見つけては病室へ足を運び、患者さんの訴えに耳を傾けます。ときにはご家族のご意見を伺い、食事内容等の変更、身体測定の実施などを行うこともあります。体調や精神状態がよい患者さんだけではないため、その時々の状態・状況に応じた栄養管理・栄養療法が必要です。また、患者さんやご家族との信頼関係を築くことも適切な栄養療法につながるため、話しやすい雰囲気を作り、話や訴えをじっくり聞くことも大切な仕事のひとつです。

NSTメンバーの佐々木智子管理栄養士は、「口から食べることでできる患者さんにはできるだけ食事で栄養を摂ってもらいたい」と



定期的なカンファレンスで連携を深めるメンバー



回診では患者さんの訴えに耳を傾ける

話します。提供している食事の中で食べられるものを聞き、可能な限り個別対応することで、食事摂取量の増加につながっています。どうしても食べられない患者さんには栄養が強化されたジュースやゼリーなどの補助食品を提供しています。中には遠慮をしてなかなか訴えを口に出さない患者さんもあるため、信頼関係の構築は不可欠です。

▶ チーム医療の強みを活かす

また、院内で定期的に勉強会を開催しています。これはNST以外のスタッフにも知識を深めてもらい、支援の必要な患者さんを見逃さないようにするためです。基本的な内容が



この日集まったNSTメンバー。前列右から、佐々木管理栄養士とリーダーの古屋総合診療科部長。

ら、栄養と運動の関係性や輸液についてなど、様々な分野の内容をテーマに取り上げ、スタッフの知識・技術の向上が患者さんのより良い栄養管理・栄養療法につながることを期待しています。

今後チームでは、栄養サポートチーム専門療法士の資格を持ったメンバーを増やすことを目標としています。管理栄養士だけでなく、他の職種からの専門的なアドバイスが活かせるところがチーム医療の強みです。チームの大きな目的の一つは、患者さんが少しでも良い栄養状態で1日も早く退院することです。そのためにも、チーム内の連携を深め、患者さんやそのご家族とより良い信頼関係の構築を目指していきます。

知っておきたい 薬の知識

シリーズ漢方薬②

「婦人科の治療薬」



漢方独特の考え方に瘀血^{おけつ}という病態があります。瘀血の「瘀」とは停滞するという意味で、体のどこかに滞った血液がある状態のことをいいます。更年期障害や月経異常、不妊症などの婦人科系の症状はこの瘀血によるものと考えられています。今回は、これらの病態に用いられる漢方薬について紹介します。

とうき しゃくやくさん 当帰 芍薬散

冷え性で貧血傾向、めまい、むくみがある場合に使用します。妊娠中も服用でき、妊娠中毒症を防いで、胎児の発育を助ける安胎薬としても使用します。

けいし ぶくりょうがん 桂枝 茯苓丸

手と足先の冷えはあるもののほてりが強く、下腹部の痛みや生理痛が強い場合に使用します。

かみ しょうようさん 加味 逍遙散

冷えもほてりもあり、便秘傾向、疲れ、不眠、イライラ、不安感がある場合に使用します。

うんけいとう 温経湯

下腹部の痛みや冷えがあるものの手のほてり、手や唇の乾燥がある場合に使用します。

がん患者さんの中には、化学療法によって食欲低下や味覚異常が起こる方がいらっしゃいます。この「あっさり食」は、食べ物の臭いで嘔気があると思うように食事をとれない方のための食事で、食事全体の量を通常の半分にしてあります。

あんかけ料理や煮魚、煮物、にんにくなどの臭いの強い野菜を使った料理を、あっさりした焼き魚、冷奴、卵豆腐、酢の物、サラダに代えて、毎食少量の果物を付けています。また、午前10時には、プリンやゼリー、ヨーグルトなどの冷たいおやつを、午後3時には煎餅などの米菓と温かいお茶をつけて、少量でも患者さんに満足して頂けるように工夫しています。



この食事はがん患者さんに限らず、
高齢で食欲のない患者さんにも
喜ばれています

お知らせ

ストレスドック

秋田赤十字病院健康増進センターでは2008年10月から「ストレスドック」を実施しています。「ストレスドック」では、ストレスチェックや心理チェックの後、臨床心理士との面談を1時間行います。面談ではストレスと上手く付き合う方法などについて個々に応じてアドバイスいたします。

自分にどの位ストレスが溜まっているのかよく分からないという方、ストレスに上手く対処できていないと感じている方は、ストレスドックを受けてみませんか？お気軽にお問い合わせください。



料金：6,480円（税込み）

対象：16歳以上の方

（心療内科や精神科に通院中の方にはご遠慮
いただいております）

お問い合わせ先：

秋田赤十字病院健康増進センター
018-829-5220（直通）

■病院からのお知らせ

外来受付時間 午前8時から午前11時30分まで（科ごとに若干異なる場合があります。）
なお、外来診療担当一覧は、1階広報ラックコーナーにございます。
休 診 日 毎週土・日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）創立記念日（7/1）
入院のご面会時間 正午（12：00）から午後8時まで

■秋田赤十字病院の理念

私たちは、人道・博愛の精神に基づき、患者の皆様が
「来て安心」・「受けて満足」・「確かな信頼」を得られる心の通った病院を目指します。



身体が不自由な方のための
専用駐車場に一般の
駐車はご遠慮ください。



敷地内全面禁煙に
ご協力ください。

広報誌 愛の窓

平成26年5月21日発行
発行人 小棚木 均

〒010-1495 秋田県秋田市上北手猿田字苗代沢 222-1
TEL.018-829-5000（代表） FAX.018-829-5255
<http://www.akita-med.jrc.or.jp>

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society